

# FPTデジタルリテール(FRT)



## 《企業紹介》

同社はベトナム全土でスマートフォンやノートパソコン等のモバイル機器及び家電製品を販売する FPT ショップと、医薬品の小売および簡易医療サービスを提供する FPT ロンチャウを経営する企業である。ベトナム最大の IT 企業の FPT 情報通信 (FPT) によって設立され、FPT は同社株式の 46%(2025 年 7 月)を保有する筆頭株主である。

FPT ショップは、米国アップルコンピュータ社の公認販売業者としてアップル社に認められたサービス水準が競争力となり、情報機器や家庭用電気製品の小売チェーン店として国内大手の一角を占めている。また、FPT ロンチャウは、手薄なベトナムの医療ネットワークを補完するチェーンを目指し、高品質なサービスを一体的に提供することに努めた結果、国内首位のドラッグストアチェーンとなっている。

## 《2026年1—3月期業績》

2026年1—3月期の売上高は前年同期比 29.5%増の 15.1 兆 VND (ベトナムドン) となった。FPT ショップの売上高は同 30.8%増の 4.8 兆 VND だった。店舗数は同 1.1%減の 621 店舗だったが、個人消費の拡大に加え、品揃えの拡充継続によって店舗当たりの売上高が伸び、大幅な増収となっている。FPT ロンチャウの売上高は同 28.4%増の 10.3 兆 VND となった。店舗数が同 24.5%増の 2,517 店舗になったことに加え、サービスの質向上やワクチンセンターの増設によって引き続き店舗当たりの売上高が増加したとみられる。ワンランク上の消費やサービスを求めるベトナムの中間層に対し、的確な商品やサービスの提供が行われているとみられ、高水準のペースでの売上高拡大が続いている。

粗利益率が同 0.1%ポイント低下の 19.8%と横ばいだったことから粗利益は同 28.8%増の 2.9 兆 VND となった。販売費が同 25.8%増の 1.9 兆 VND、一般管理費が同 24.8%増の 5,221 億 VND と抑制的だったことに加え、資金繰りの改善による受取利息の増加によって金融費用が同 84.1%減の 81 億 VND と大幅に減少したため、営業利益は同 74.6%増の 4,663 億 VND と大きく伸びた。税前利益は同 73.1%増の 4,716 億 VND、純利益は同 71.1%増の 2,874 億 VND となった。先行投資の回収が本格化しているとみられ、売上高の増加ペースを大きく上回る利益成長が続いている。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	11,669.8	29.1	11,390.3	23.3	13,109.9	26.4	14,912.8	30.3	15,116.9	29.5
粗利益	2,324.5	28.6	2,271.1	25.4	2,539.4	34.3	2,874.7	38.6	2,994.9	28.8
粗利益率(%ポイント)	19.9	-0.1	19.9	0.3	19.4	1.2	19.3	1.2	19.8	-0.1
営業費用	2,057.4	19.7	2,065.4	20.3	2,217.1	31.1	2,456.9	28.4	2,528.6	22.9
金融費用(マイナスは受取超過)	50.8	43.6	31.5	-11.3	16.7	-49.9	2.0	-95.4	8.1	-84.1
販売費	1,588.2	15.1	1,660.3	21.9	1,789.9	35.6	1,979.9	35.1	1,998.4	25.8
一般管理費	418.5	38.3	373.7	16.7	410.6	21.5	475.0	17.2	522.1	24.8
営業利益	267.1	199.8	205.7	119.9	322.3	61.8	417.8	159.0	466.3	74.6
税前利益	272.5	207.1	206.7	187.9	324.9	64.9	415.0	145.1	471.6	73.1
税引後利益	168.0	333.3	118.7	343.7	218.7	55.2	289.5	160.6	287.4	71.1

出所 会社資料をもとに当社作成

### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260512

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

# FPTデジタルリテール(FRT)



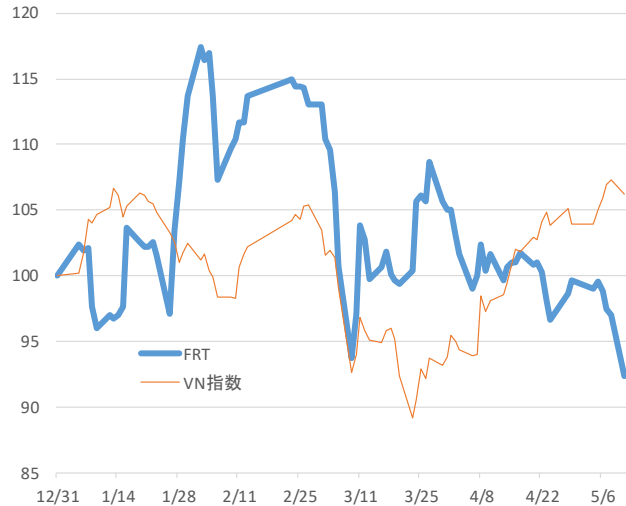
## 《株価の推移》

図表2は、同社の株価とVN指数について2025年末の終値を100として指数化したものである。同社の株価は2026年の年初から4月中旬までVN指数を概ねアウトパフォームしていたが、それ以降はVN指数の上昇について行けず、アンダーパフォームに転じている。5月11日終値ベースでVN指数が2025年末比6%の上昇となっているのに対し、同社の株価は8%の下落となっている。5月7日終値138,000VNDで計算した時価総額は23.5兆VNDで、これは2025年12月期の純益の7,949億VNDの30倍となっている。

同社は2026年12月期について、売上高を前期比16%増の59.5兆VND、税前利益を同27%増の1兆5,500億VNDと計画している。進捗率は

売上高が25%、税前利益が30%となっており、計画を順調に消化しているとみることができるだろう。ベトナムの小売り大手各社は総じて業績が改善しており、一部には再び出店攻勢に転じる動きや、業態多様化の動きがみられる。このため、様々な小売業態が入り乱れての厳しい競争が再び発生する可能性が高まっている。同社は医薬品の小売事業で高い競争力を有するが、その競争力をどのように活かして業績の成長を持続させるかが今後の株価パフォーマンスの鍵を握ることになるだろう。

図表2 株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260512

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。